

2月モデルポートフォリオ

2026年2月2日発行

« 新規 »

ニッスイ フルヤ金属

« 繼続 »

大林組 デンカ 住友鉱 栗田工業 マツダ

« 米国株 »

ブロードコム GE エアロスペース

岡地証券 調査情報室

(審査済)

当資料はあくまで投資情報の参考になる情報の提供を目的としたものです。また当室が信頼できると判断した情報源から入手したものであります。これらの情報に対して確認の手段を必ずしもとっているとは限りません。従って情報の完全性、正確性を保証するものではありません。なお最終ページに重要な注意事項の開示がありますのでご覧ください。

2月イベントカレンダー（日米版）

月	火	水	木	金
2 (日)みずほ FG 決算	3 (日)三井物産 決算 (日)任天堂 決算 (日)三菱電機 決算 (米)ISM 製造業 景気指数	4 (日)三菱 UFJ 決算 (日)三菱重工 決算 (米)ADP 雇用者 数 (米)ISM 非製造 業景気指数	5 (日)三菱商事 決算 (日)NTT 決算 (日)ソニー 決算	6 (日)東京エレク 決算 (日)伊藤忠商事 決算 (日)KDDI 決算 (米)雇用統計 (米)ミシガン大学 消費者信頼感指 数
9 (日)リクルート 決算 (日)ソフトバンク 決算	10	11 (日)建国記念の 日で休場 (米)消費者物価 指数	12 (日)ソフトバンク G 決算 (日)JT 決算	13 (日)東京海上 HD 決算
16 (日)実質 GDP(1 次速報) (米)ワシントン誕 生記念日で休場	17 (米)小売売上高 (米)ニューヨーク 連銀製造業景気 指數	18 (米)住宅着工件 数	19 (日)機械受注 (米)フィラデルフ ィア連銀景況指數	20 (日)全国消費者 物価指數 (米)個人消費支 出 (米)実質 GDP (速報値)
23 (日)天皇誕生日 で休場	24 (米)消費者信頼 感指數	25 (米)新築住宅販 売件数	26 (米)耐久財受注	27 (日)鉱工業生産 (米)生産者物価 指數

*上記スケジュールは作成時点のもので、変更になる場合があります。また、米国企業の決算発表スケジュールは直前まで未定のため、当イベントカレンダーには記載していません。

*雇用統計など政府機関が公表する経済指標に関しては、政府機関閉鎖の関係で日程が変動する場合があります。

当資料はあくまで投資情報の参考になる情報の提供を目的としたものです。また当室が信頼できると判断した情報源から入手したものであります。これらの情報に対して確認の手段を必ずしもとっているとは限りません。従って情報の完全性、正確性を保証するものではありません。なお最終ページに重要な注意事項の開示がありますのでご覧ください。

1332 ニッスイ

業績動向

決算期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	純利益 (百万円)	EPS (円)	配当 (円)
2023/3	768,181	24,488	21,233	68.2	18
2024/3	831,375	29,663	23,850	76.7	24
2025/3	886,126	31,779	25,381	81.7	28
2026/3 予	900,000	34,500	25,000	82.5	28

(数値は会社予想)

各種指標 (1/27)	
株価(円)	1,303.5
PER(倍)	15.5
PBR(倍)	1.44
ROE(%)	9.64
YLD(%)	2.14

☆水産大手、スマート養殖に注力

事業セグメントは水産事業、食品事業、ファインケミカル事業、物流事業の4つから構成。漁業会社から食品・ファインケミカル事業へと多角化。冷凍食品ではニチレイ、味の素に次ぐ規模ではあるが「焼きおにぎり」「ちくわの磯辺揚げ」などがロングセラー商品を持つ。食品に関しては業務用食材でも強みを持っている。今期中間期では水産事業の利益が大きく伸長した。養殖事業では卵から育てる完全養殖技術をブリやサケで確立している。

☆中期経営計画

昨年4月に2027年度で売上高9,700億円、営業利益410億円、ROE10%を目標とする中期経営計画を発表。水産事業の強化を柱に海外での売上げを伸ばす考え。このほか医薬品原料を中心としたファインケミカル事業にも注力していく。

ニッスイ(1332/T)週足



当資料はあくまで投資情報の参考になる情報の提供を目的としたものです。また当室が信頼できると判断した情報源から入手したものであります。これらの情報に対して確認の手段を必ずしもとっているとは限りません。従って情報の完全性、正確性を保証するものではありません。なお最終ページに重要な注意事項の開示がありますのでご覧ください。

1802 大林組

業績動向

決算期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	純利益 (百万円)	EPS (円)	配当 (円)
2023/3	1,983,888	93,800	77,671	108.3	42
2024/3	2,325,162	79,381	75,059	104.6	75
2025/3	2,620,101	143,442	146,052	203.8	81
2026/3 予	2,570,000	165,000	149,000	214.0	82

(数値は会社予想)

各種指標 (1/27)	
株価(円)	3,572
PER(倍)	16.4
PBR(倍)	2.09
ROE(%)	12.6
YLD(%)	2.29

☆関西地盤のスーパーゼネコン

同社は1892年創業で関西が発祥であり、現在は首都圏でも大型建築や土木を展開する5大スーパーゼネコンの1社である。昨年10月、自民党と日本維新の会が連立政権を樹立したが、日本維新の会は連立入りの条件の1つとして「副首都構想」をあげている。仮に副首都が大阪となれば、関西地盤のゼネコンである同社の収益改善に期待できる。

☆大阪IR・国土強靭化

副首都構想以外にも、2030年秋頃には統合型リゾート(IR)施設の開業が予定されている。すでに昨年の4月には大阪・夢洲でのIR建設工事が始まっており、同社も設備の建設などを担うこととなっている。また、高市首相は総裁選の公約で「国土強靭化対策」を掲げており、公共インフラの更新や老朽化対策などの案件も、今後さらに増加するものと考えられる。

大林組(1802/T)週足



当資料はあくまで投資情報の参考になる情報の提供を目的としたものです。また当室が信頼できると判断した情報源から入手したものであります。これらの情報に対して確認の手段を必ずしもとっているとは限りません。従って情報の完全性、正確性を保証するものではありません。なお最終ページに重要な注意事項の開示がありますのでご覧ください。

4061 デンカ

業績動向

決算期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	純利益 (百万円)	EPS (円)	配当 (円)
2023/3	407,559	32,324	12,768	148.0	100
2024/3	389,263	13,376	11,947	138.6	100
2025/3	400,251	14,413	-12,300	-	100
2026/3 予	400,000	25,000	15,000	174.0	100

(数値は会社予想)

各種指標 (1/27)	
株価(円)	3,056
PER(倍)	17.5
PBR(倍)	0.89
ROE(%)	
YLD(%)	3.27

☆AI需要で半導体材料好調

半導体材料やセメント、医薬品、インフルエンザワクチンなど、幅広く展開する中堅化学メーカーの同社だが、足元で生成AI関連や電力インフラ向け製品の需要が拡大している。特に半導体封止材向けで世界トップシェアの球状シリカの引き合いが急増している。その他にも放熱材用用途の球状アルミナなど、同社が強みを持つ最先端のサーマルマネジメントの領域の製品の需要が伸びている。また、昨年の2月から販売を開始した新製品のスネクトンも生成AI向けでの採用が順調に進んでおり、2026年度には新設備の稼働が開始する予定となっている。

☆例年よりも早いインフルエンザの流行

同社はインフルエンザの検査キットやワクチンで国内シェアトップクラスとなっている。今シーズンのインフルエンザウイルスが例年より猛威を振るった場合は、同社収益の上振れにつながる可能性がある。

デンカ(4061/T)週足



当資料はあくまで投資情報の参考になる情報の提供を目的としたものです。また当室が信頼できると判断した情報源から入手したものであります。これらの情報に対して確認の手段を必ずしもとっているとは限りません。従って情報の完全性、正確性を保証するものではありません。なお最終ページに重要な注意事項の開示がありますのでご覧ください。

5713 住友金属鉱山

業績動向

決算期	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)	EPS (円)	配当 (円)
2023/3	1,422,989	229,910	160,585	584.4	205
2024/3	1,445,388	95,795	58,601	213.2	98
2025/3	1,593,348	31,383	16,487	59.9	104
2026/3 予	1,554,000	121,000	74,000	272.6	131

(数値は会社予想)

各種指標 (1/27)	
株価(円)	8,788
PER(倍)	32.1
PBR(倍)	1.31
ROE(%)	0.98
YLD(%)	1.49

☆金価格・銅価格の上昇

同社は金、銅、ニッケルの非鉄金属の大手であり、足元では金価格や銅価格の上昇を背景に収益が改善してきている。11月10日の2Q決算発表では経常利益を1,020億円から1,210億円に上方修正した。地政学リスクの高まりなどを背景とした金価格の上昇や、AI需要の高まりによる銅線需要の増加とそれにともなう銅価格の上昇は、まだしばらくは続くと思われ、同社には追い風となる。

☆次の成長ドライバー

同社の事業は大きく分けると資源セグメント、精錬セグメント、材料セグメントに分けられる。その中の特に材料セグメントにて次世代に向けたあらゆる取り組みを行っている。まず、電池材料事業についてはトヨタとEV向けの全固体電池の材料量産で協業することを発表している。機能性材料事業については生成AI向けのファラデーロータの生産能力の増強を図るなど、今後の成長に期待が持てる。

住友金属鉱山(5713/T)週足



当資料はあくまで投資情報の参考になる情報の提供を目的としたものです。また当室が信頼できると判断した情報源から入手したものであります。これらの情報に対して確認の手段を必ずしもとっているとは限りません。従って情報の完全性、正確性を保証するものではありません。なお最終ページに重要な注意事項の開示がありますのでご覧ください。

6370 栗田工業

業績動向

決算期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	純利益 (百万円)	EPS (円)	配当 (円)
2023/3	344,608	29,058	20,134	179.1	78
2024/3	384,825	41,232	29,189	259.7	84
2025/3	408,888	31,275	20,305	180.7	92
2026/3 予	425,000	53,500	36,300	330.6	112

(数値は会社予想)

各種指標 (1/27)	
株価(円)	7,311
PER(倍)	22.0
PBR(倍)	2.37
ROE(%)	6.08
YLD(%)	1.53

☆国内最大手の水処理企業

半導体製造において不可欠な超純水の製造装置や水処理薬品の開発、提供を行っている。顧客数は約5万5千社を数え、半導体産業に限らず、石油化学、紙パルプ、鉄鋼、電力など製造業のほぼ全てに関係している。とりわけ半導体製造に使われる超純水について同社はトップクラスのシェアを持っている。

☆TSMCとも密接な関係

TSMCは九州・熊本すでに半導体の量産を開始しているわけだが、新たに第2工場も建設中である。第2工場にも同社の超純水製造装置が納入される見込みである。同社のビジネスモデルは装置の販売に止まらず、その後のメンテナンス、半導体製造装置の洗浄といった作業も大きな収益源となっている。装置の設置から運転管理、メンテナンスまで一気通貫で行うことで、顧客企業と高い信頼関係を築いている。

栗田工業(6370/T)週足



当資料はあくまで投資情報の参考になる情報の提供を目的としたものです。また当室が信頼できると判断した情報源から入手したものであります。これらの情報に対して確認の手段を必ずしもとっているとは限りません。従って情報の完全性、正確性を保証するものではありません。なお最終ページに重要な注意事項の開示がありますのでご覧ください。

7261 マツダ

業績動向

決算期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	純利益 (百万円)	EPS (円)	配当 (円)
2023/3	3,826,752	141,969	142,814	226.7	45
2024/3	4,827,662	250,503	207,696	329.7	60
2025/3	5,018,893	186,125	114,079	181.0	55
2026/3 予	4,900,000	50,000	20,000	31.7	55

(数値は会社予想)

各種指標 (1/27)	
株価(円)	1,162.5
PER(倍)	36.6
PBR(倍)	0.42
ROE(%)	6.46
YLD(%)	4.73

☆世界で130万台を販売

前期、グローバルな地域で CX シリーズを中心に 130 万台を販売。今期は上期に 609 万台を販売した。通期では 130 万台の販売を見込んでいる。CO₂ の排出を抑え走る歓びを追求。ガソリン車では世界最高レベルの燃費を実現。また「魂動」デザインと呼ばれる独自の造形美は国内外から高く評価されている。

☆北米が最大の収益源

上期販売台数 60 万 9 千台のうち北米は 30 万 6 千台を販売した。とりわけ米国向けには他の地域に比べサイズの大きい「CX-90」を投入。同社がラージ商品と位置付ける車種は、その他のものに比べ利益率が高い。米国で売上げを伸ばすことが全体の利益率上昇につながる。

マツダ (7261/T) 週足



当資料はあくまで投資情報の参考になる情報の提供を目的としたものです。また当室が信頼できると判断した情報源から入手したものであります。これらの情報に対して確認の手段を必ずしもとっているとは限りません。従って情報の完全性、正確性を保証するものではありません。なお最終ページに重要な注意事項の開示がありますのでご覧ください。

7826 フルヤ金属

業績動向

決算期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	純利益 (百万円)	EPS (円)	配当 (円)
2023/3	48,115	11,485	9,406	499.3	85
2024/3	47,527	9,813	7,410	322.4	95.3
2025/3	57,379	9,538	6,468	263.2	96
2026/3 予	64,000	10,000	6,000	244.1	75

(数値は会社予想)

各種指標 (1/27)	
株価(円)	4,215
PER(倍)	17.2
PBR(倍)	1.60
ROE(%)	10.3
YLD(%)	1.77

☆イリジウム・ルテニウムなど工業用貴金属製品メーカー

同社はプラチナグループといわれる白金・イリジウム・ルテニウムなどの工業用貴金属を産業用に加工している。イリジウムやルテニウムは貴金属のなかでも特に貴重価値が高い鉱物で、その加工には高度な技術が必要といわれている。同社はこれら鉱物の加工に早くから取り組んでいたことから、高度な加工技術を確立しており、同事業では高いシェアを持っている。

☆銅の代替としてルテニウムに脚光

半導体の微細化において、銅に置き換わる技術としてルテニウム配線が注目されている。ルテニウムは銅と比べ、抵抗値が低く信号の伝達スピードが早いといわれており、最先端の半導体向けなどを中心に需要が増加している。特にハードディスク用ルテニウムスパッタリングターゲットでは世界シェア7割と圧倒的なシェアを持っている。

フルヤ金属(7826/T)週足



当資料はあくまで投資情報の参考になる情報の提供を目的としたものです。また当室が信頼できると判断した情報源から入手したものであります。これらの情報に対して確認の手段を必ずしもとっているとは限りません。従って情報の完全性、正確性を保証するものではありません。なお最終ページに重要な注意事項の開示がありますのでご覧ください。

AVGO ブロードコム

業績動向

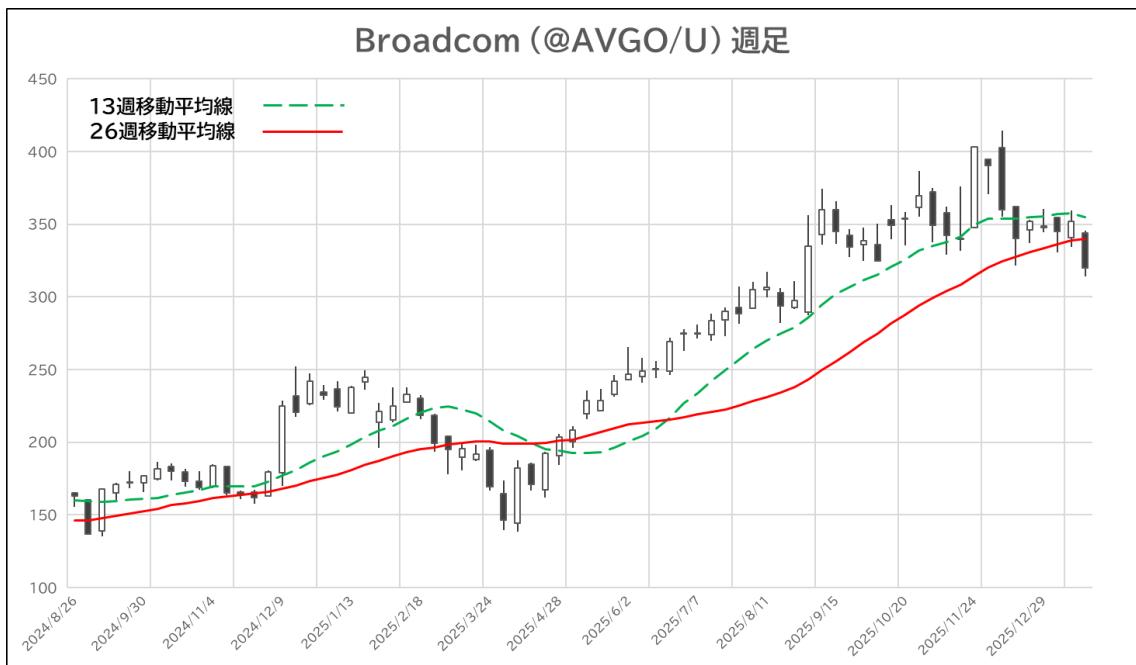
決算期	売上高 (百万ドル)	純利益 (百万ドル)	EPS (ドル)	配当 (ドル)
2023/10	35,819	14,082	3.297	1.840
2024/10	51,574	6,168	1.233	2.105
2025/10	63,887	23,126	4.765	2.360
2026/10 予	97,036	39,441	7.930	2.608

(EPSは希薄化を勘案 数値は FACTSET 集計値)

各種指標 (1/26)	
株価(ドル)	324.85
PER(倍)	31.2
PBR(倍)	18.6
ROE(%)	31.0
YLD(%)	0.81

☆AI 半導体で強み

カスタム ASIC (特注型 AI 半導体) で強みを持っている。主要顧客にはグーグル、メタ、オープン AI などがある。ファブレスメーカーであり設計、開発に特化している。新たにアンソロピックも顧客となり AI 半導体の受注はさらに増加していきそうだ。また 2023 年に買収した VM ウェアが持っていたソフトウェア事業も軌道に乗り、全体の収益も大きく成長。顧客企業が生成 AI の高度化を進めており、これにより同社の AI 向け半導体のシェアは高まっていくと思われる。



当資料はあくまで投資情報の参考になる情報の提供を目的としたものです。また当室が信頼できると判断した情報源から入手したものであります。これらの情報に対して確認の手段を必ずしもとっているとは限りません。従って情報の完全性、正確性を保証するものではありません。なお最終ページに重要な注意事項の開示がありますのでご覧ください。

GE GEエアロスペース

業績動向

決算期	売上高 (百万ドル)	純利益 (百万ドル)	EPS (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	35,348	9,485	8.354	0.320
2024/12	38,702	6,646	5.975	1.120
2025/12	45,855	8,601	8.140	1.440
2026/12 予	47,953	8,068	7.859	1.595

(EPSは希薄化を勘案 数値は FACTSET 集計値)

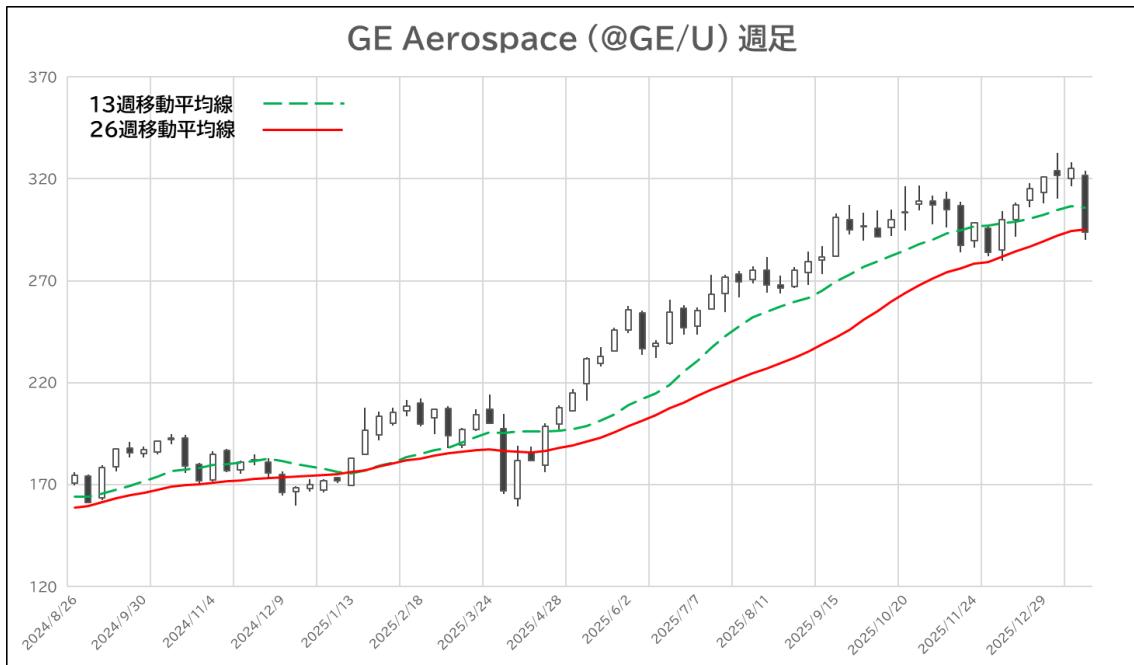
各種指標 (1/26)	
株価(ドル)	295.06
PER(倍)	39.7
PBR(倍)	16.5
ROE(%)	45.2
YLD(%)	0.54

☆航空機エンジンで圧倒的な存在感

2024年にGEから分離独立。世界で運行されている航空機の約4分の3が同社製である。民間航空機エンジンを4万5千基、軍用航空機エンジンを2万5千基設置した実績を持つ。その結果、保守、修理、部品供給といったアフターマーケットでも安定した収益を稼ぎ出す。

☆次世代エンジン開発も

現行エンジンよりも20%以上の燃費改善とCO2排出削減が見込んでいる。これは軍需にも対応しており次世代戦闘機向けにも期待が持てる。さらにデジタル技術の活用によりエンジンが故障する前に予兆を検知するサービスも提供していく。



当資料はあくまで投資情報の参考になる情報の提供を目的としたものです。また当室が信頼できると判断した情報源から入手したものであります。これらの情報に対して確認の手段を必ずしもとっているとは限りません。従って情報の完全性、正確性を保証するものではありません。なお最終ページに重要な注意事項の開示がありますのでご覧ください。

【本レポートについて】

岡地証券株式会社

本レポートは「岡地証券株式会社調査情報室」が信頼できると判断した現在の公開情報に基いて作成しております。しかし、これらの情報に対して確認の手段を必ずしもとっているとは限りません。従って、その正確性、信頼性を保障するものではありません。

本レポートは、お客様への投資のための参考情報であり、投資勧誘を目的とするものではありません。従いまして、本レポートの使用による結果につきましては、「岡地証券株式会社」が責任を負うことが出来ませんので、お取引の最終決定はお客様の判断と責任において行われるようお願いいたします。

本レポートで述べられている見解は、当該証券又は発行会社に関する執筆者の意見を正確に反映したものです。執筆者の過去、現在そして将来の報酬のいかなる部分も、直接、間接を問わず、本レポートの投資判断や記述内容に関連するものではありません。

本レポートの著作権は「岡地証券株式会社」に帰属します。本レポートで提供される情報に関し、「岡地証券株式会社」の承諾を得ずに当該情報の複製、販売、配布、修正または営利目的での利用はできません。

【取引に係る諸経費等】

国内の金融商品取引所に上場されている株券の売買を行うにあたっては、約定代金に対して最大 1.2650%（ただし、最低 2,750 円）の委託手数料（消費税込）が必要となります。

外国金融商品市場等における外国株券の委託取引では約定代金に対して最大 1.2650%（ただし、最低 2,750 円）の国内取次手数料（消費税込と現地委託手数料 等当該諸費用は、その時々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その金額等をあらかじめ記載することはできません。）が必要となります。

外国金融商品市場等に上場している 外国株券の国内店頭取引については、お客様に提示する売買仕切価格に手数料相当額が含まれている為、別途手数料を頂戴することはありません。売買仕切価格は、前日の取引所価格などを基準に合理的かつ適正な方法で算出した社内基準価格を仲値として、仲値と売買仕切価格との差がそれぞれ 2.50%（手数料相当額）となるように設定したものです。

外国株券の売買等にあたり、円貨と外貨を交換する際の為替レートは、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

株券の売買を行うにあたっては、株価の変動による損失が生じるおそれがあります。

外国株券等の 取引では、為替レートの変動によるリスクがあります。

信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 100 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金を上回るおそれがあります。

お取引にあたっては、「契約締結前交付書面」をよくお読みください。

外国金融商品市場等に上場している外国株券等の取引に当たっては、「外国株券等の取引に関する重要事項」ならびに「外国株券等の国内店頭取引について」をよくお読みください。

商 号 : 岡 地 証 券 株 式 会 社
第一種金融商品取引業者
東海財務局長(金商)第 5 号
加 入 協 会 : 日 本 証 券 業 協 会
日 本 投 資 顧 問 業 協 会
指 定 紛 争 解 決 機 関 : 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター